堺市立少林寺小学校　教諭　阿部　仁氏　投稿記事

河北新報　2022年12月13日

■すずめ踊りで堺と交流を

阿部　仁　40歳
（大阪市中央区・小学校教諭）

堺市の小学校に勤めている。先日、近くで活動する「堺すずめ踊り」の連の方々に体育館で児童向けに踊りを披露していただいた。

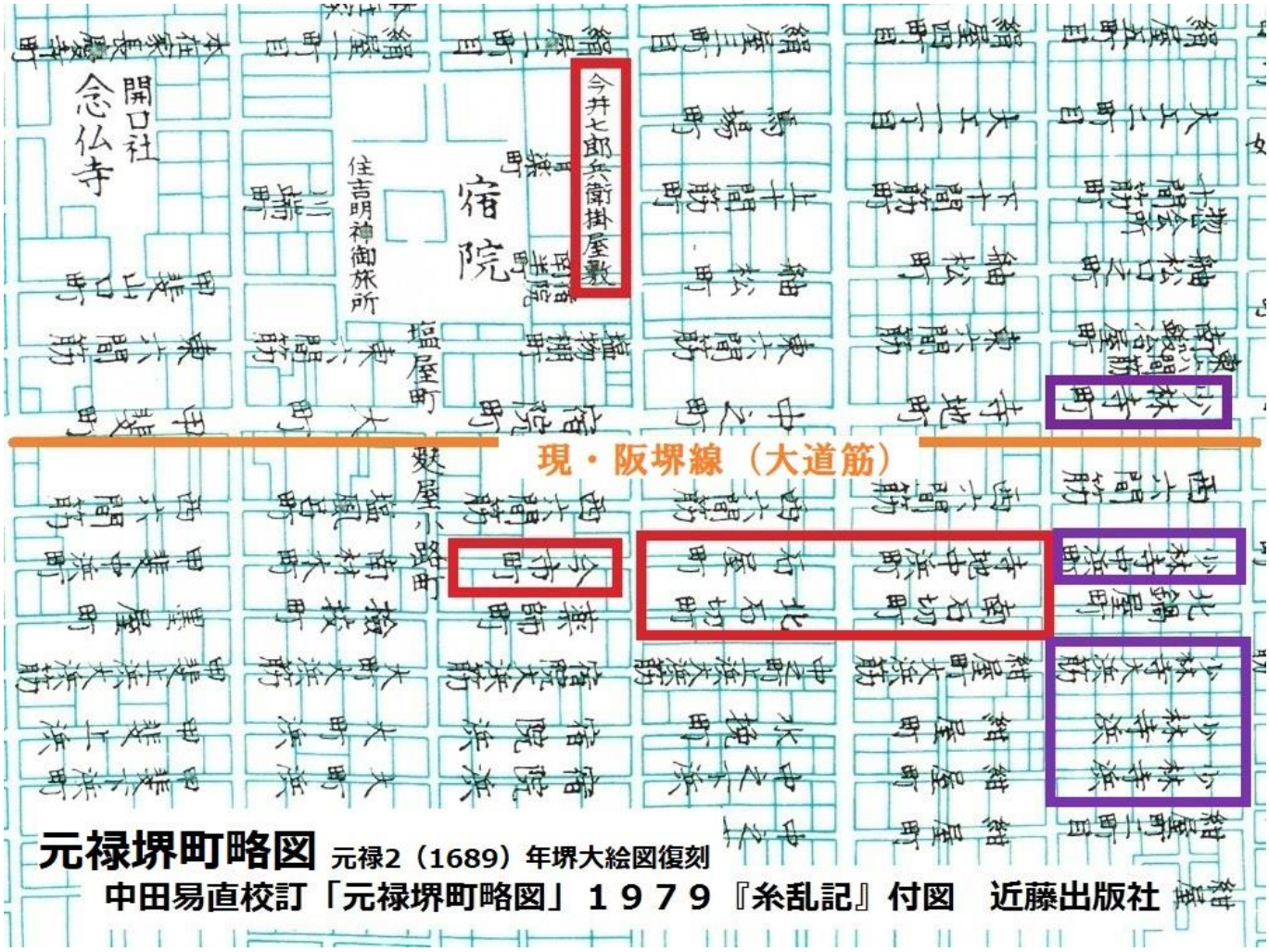
仙台・青葉まつりの呼び物「すずめ踊り」は、仙台城の石垣造りに呼ばれた堺の石工たちが1603年の城完成の宴席で仙台藩祖・伊達政宗を前に即興で披露した踊りが発祥とされる。仙台では小学校の運動会などで、すずめ踊りが取り入れられていると聞く。

しかし、堺市では教員も含め、そうした史実を知らない人が多い。だが、体育館で祭りばやしが始まると、子どもたちも楽しそうに踊り出し、手作り扇子でうれしそうに舞っていた。

学校の近くには、かつて石工たちが住み、茶人・千利休の屋敷跡もある。政宗も堺商人と交流があったようだ。有力武将が堺の町を行き交ったのだろうか。

仙台城には大学時代に旅行で訪れた。近年、大手門の復元を含め、城跡の整備計画が進んでいるという。次に訪れた際は、石垣をじっくり見学したい。

堺では今も職人技や伝統工芸が息づく。地元の歴史や文化を見つめ直すとともに、これからもすずめ踊りを通した仙台と堺の交流が続いてほしいと思う。



元禄堺町略図 元禄2（1689）年堺大絵図復刻
中田易直校訂「元禄堺町略図」１９７９『糸乱記』付図　近藤出版社